



## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社ダイナック 上場取引所 東  
 コード番号 2675 URL http://www.dynac.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若杉 和正  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部長 (氏名) 保坂 孝徳 TEL 03-3341-4216  
 管理本部長 法務・総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 平成29年9月19日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第2四半期の業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	17,383	△0.0	147	△8.3	143	△9.9	126	—
28年12月期第2四半期	17,391	0.0	161	△24.4	159	△23.9	△73	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	17.99	—
28年12月期第2四半期	△10.44	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	13,528	4,303	31.8
28年12月期	14,058	4,218	30.0

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 4,303百万円 28年12月期 4,218百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年12月期	—	6.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年12月期の業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,900	2.5	1,000	32.0	970	2.7	440	80.0	62.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	7,033,000株	28年12月期	7,033,000株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	254株	28年12月期	254株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	7,032,746株	28年12月期2Q	7,032,746株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「業績予想に関する定性的情報」及び本日平成29年8月4日公表の「平成29年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、基調としては緩やかな回復を続けており、企業収益は当面底堅く推移する見込みであるものの、海外の政治・経済動向に不透明感が残るなど、先行き不安定な状況が続いております。

外食業界におきましても、個人の消費マインドは緩やかな回復傾向にあるものの、将来不安等を背景とした消費者の節約志向の高まり、原材料価格の上昇、人材不足による人件費の上昇等により、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況の下、当社は「お客様の感動満足」を起点とした更なる会社の成長の実現に向け、より付加価値の高い分野の業容拡大並びに構造変革など、当社事業の強みを活かした運営基盤の強化に取り組むとともに、食に対する安心・安全の追求及びお客様に最高の商品・サービス・環境をご提供できる店づくりを心がけてまいりました。

当第2四半期累計期間における出店は、大阪にダイナミックキッチン&バー「響」を初出店するなど、ゴルフ場レストランを含め4店舗を新規に出店する一方で4店舗を閉店、4店舗を売却し、当第2四半期会計期間末の店舗数は254店舗（業務運営受託店舗6店除く）となりました。

当第2四半期累計期間における業績につきましては、売上面では天候不順の影響もありましたが、「倶楽部ダイナック（顧客会員カード）」のポイント増量キャンペーンなど様々な販売促進活動を行ったことにより、売上高は17,383百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

利益面では、より一層店舗管理コストの最適化に努めましたが、外形標準課税の税制改正に伴う税率変更の影響等により、経常利益は143百万円（前年同期比9.9%減）となりました。また、4店舗を売却したことに伴う事業譲渡益を計上したこと等により、四半期純利益は126百万円（前年同期は四半期純損失73百万円）となりました。

当該事業の形態別業績は以下のとおりです。

レストラン・バーの売上高は15,647百万円（前年同期比0.3%減）、売上総利益は1,902百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

ケータリングの売上高は517百万円（前年同期比3.3%増）、売上総利益は53百万円（前年同期比50.6%増）となりました。

その他の売上高は1,218百万円（前年同期比1.4%増）、売上総利益は191百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は13,528百万円となり、前事業年度末と比べ530百万円の減少となりました。その主な増減内容につきましては、以下のとおりです。

流動資産は、前事業年度末と比べ526百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が306百万円、現金及び預金が155百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べ3百万円の減少となりました。これは主に、建物が79百万円増加した一方で、敷金及び保証金が77百万円、無形固定資産が6百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末と比べ616百万円の減少となりました。これは主に借入金が増加した一方で、買掛金が838百万円、未払費用が546百万円、未払金（流動負債「その他」）が463百万円、未払法人税等が224百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ85百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より1.8ポイント増加の31.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ155百万円減少の499百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、937百万円(前年同期は981百万円の資金使用)となりました。これは主に減価償却費の計上374百万円及び売上債権の減少額306百万円による資金獲得と、仕入債務の減少額838百万円、未払費用の減少額546百万円及び法人税等の支払額318百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、726百万円(前年同期は445百万円の資金使用)となりました。これは主に事業譲渡による収入額209百万円による資金獲得と、有形固定資産の取得による支出988百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,507百万円(前年同期は1,174百万円の資金獲得)となりました。これは主に借入金の収入と返済による資金収支1,550百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期業績見通し)

平成29年12月期の業績予想は次の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,900	1,000	970	370	52円61銭
今回修正予想(B)	36,900	1,000	970	440	62円56銭
増減額(B-A)	—	—	—	70	—
増減率(%)	—	—	—	18.9	—
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	36,007	757	944	244	34円75銭

平成29年12月期第2四半期累計期間において特別損益に4店舗を売却したことによる事業譲渡益等を計上したこと等により当期純利益の業績予想を修正いたします。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	654,475	499,221
受取手形及び売掛金	2,146,020	1,839,835
商品	60,784	45,698
原材料及び貯蔵品	224,191	183,598
その他	662,290	651,494
貸倒引当金	△27,000	△26,000
流動資産合計	3,720,762	3,193,849
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,004,026	4,083,829
その他(純額)	683,491	725,448
有形固定資産合計	4,687,518	4,809,278
無形固定資産	196,765	189,954
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,717,113	4,639,445
その他	973,746	933,820
貸倒引当金	△237,201	△238,001
投資その他の資産合計	5,453,658	5,335,264
固定資産合計	10,337,942	10,334,497
資産合計	14,058,704	13,528,346

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,532,044	1,693,750
短期借入金	402,500	2,130,000
1年内返済予定の長期借入金	355,000	220,000
未払法人税等	397,000	172,100
未払費用	2,454,404	1,907,582
役員賞与引当金	21,130	13,750
資産除去債務	24,729	—
その他	1,306,453	747,394
流動負債合計	7,493,261	6,884,577
固定負債		
長期借入金	342,500	300,000
退職給付引当金	1,163,437	1,206,196
資産除去債務	782,399	774,705
その他	58,954	58,917
固定負債合計	2,347,292	2,339,819
負債合計	9,840,553	9,224,397
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,741,625	1,741,625
資本剰余金	965,175	965,175
利益剰余金	1,500,548	1,584,885
自己株式	△331	△331
株主資本合計	4,207,017	4,291,354
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,133	12,594
評価・換算差額等合計	11,133	12,594
純資産合計	4,218,151	4,303,949
負債純資産合計	14,058,704	13,528,346

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	17,391,165	17,383,156
売上原価	15,274,750	15,235,834
売上総利益	2,116,415	2,147,321
販売費及び一般管理費	1,955,016	1,999,354
営業利益	161,398	147,967
営業外収益		
受取利息	459	541
受取配当金	206	206
受取補償金	3,962	—
その他	1,220	2,041
営業外収益合計	5,849	2,789
営業外費用		
支払利息	5,984	4,517
その他	1,517	2,279
営業外費用合計	7,501	6,797
経常利益	159,745	143,959
特別利益		
事業譲渡益	—	104,259
特別利益合計	—	104,259
特別損失		
固定資産除却損	45,826	19,090
減損損失	22,749	—
店舗等撤退損失	76,649	6,188
特別損失合計	145,225	25,278
税引前四半期純利益	14,519	222,940
法人税、住民税及び事業税	40,684	60,367
法人税等調整額	47,264	36,039
法人税等合計	87,948	96,406
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,428	126,533



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	14,519	222,940
減価償却費	351,557	374,063
固定資産除却損	45,826	19,090
減損損失	22,749	—
店舗等撤退損失	76,649	6,188
事業譲渡益	—	△104,259
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△89,418	△199
受取利息及び受取配当金	△665	△747
支払利息	5,984	4,517
売上債権の増減額(△は増加)	312,596	306,184
たな卸資産の増減額(△は増加)	45,741	54,051
仕入債務の増減額(△は減少)	△960,745	△838,294
未払費用の増減額(△は減少)	△461,808	△546,638
未払消費税等の増減額(△は減少)	△180,824	△85,713
その他	155,253	△25,451
小計	△662,584	△614,269
利息及び配当金の受取額	665	747
利息の支払額	△8,028	△4,700
法人税等の支払額	△311,095	△318,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	△981,042	△937,085
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△445,016	△988,855
敷金及び保証金の差入による支出	△30,719	△16,088
敷金及び保証金の回収による収入	102,783	118,581
店舗等撤退による支出	△29,627	△33,304
事業譲渡による収入	—	209,169
その他	△43,306	△15,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445,886	△726,142
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,987,000	1,727,500
長期借入金の返済による支出	△777,500	△177,500
配当金の支払額	△35,003	△42,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,174,496	1,507,975
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△252,433	△155,253
現金及び現金同等物の期首残高	598,392	654,475
現金及び現金同等物の四半期末残高	345,959	499,221

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。